

### 3 自己評価及びこども園関係者評価結果

#### (1) 自己評価

<本年度の重点目標>

- ① 保育の計画性と職員間の共通理解をはかる。
- ② 教師との信頼感に支えられた生活の展開と幼児一人一人の特性に応じた指導をはかる。
- ③ 乳幼児の安全な生活、施設設備の安全管理に努める。
- ④ 教育の質の向上のために、園内研修や研修の充実をはかる。
- ⑤ 保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる。
- ⑥ 地域との交流や、子育て支援事業の充実をはかる。

#### 自己評価書 (教職員)

評価(A 十分達成された B 達成された C 十分ではない D 不十分である)

I 「教育及び保育の目標、計画性」について	評価点
<p>複数担任やチーム保育では、共通理解を持ってやっていくことが一番だと思うので、担任の計画や思いを聞きながら保育に参加し一緒に考えるようにしてきたし、今後も続けていく。</p> <p>教育課程を毎年見直しはしているが、もう少し子どもの実態を考え、行事だけでなく保育内容全体でも見直していく。</p> <p>園内で公開保育をして見せ合えば、乳児から卒園までの成長の様子もわかる。また、自分保育の見直しにもなるので、必要性を感じ、職員の配置から考えると難しいとは思いますが、改善していく。</p>	B
<p>II 「幼児への対応」について</p> <p>それぞれの保育教諭が、環境や活動やねらいなど考えているが、若い先生たちの中にはスキルが少なく、保育内容に変化がなかなか持てないので、経験のある先生たちも気軽にアドバイスをし、今後もみんなで考えていく。</p> <p>子どもたちがもっと遊びに夢中になったり、体を動かして遊びへの意欲が持てるよう、保育教諭自身も一緒に楽しむ気持ちが大切だと思うので一緒に楽しんでいく。</p> <p>こども園だからこそできる異年齢交流を増やし、互いに学び合う機会ができると思うので、ぜひ進めたい。</p>	A
<p>III 「健康及び安全」について</p> <p>事故防止マニュアルを全員が把握できているか、年度始めなどに見直ししたり確認し徹底させることが大切。</p> <p>散歩の機会は増えたが、いつも同じコースになってしまったので、下見に行ったりして散歩マップのようなものを作って行くのでもいいと思う。子どもの安全は、たくさんの目で見るのが大切なので、外遊びの配置は声を掛け合って皆で見ている。</p> <p>個別の配慮が必要な子に対しては、皆できちんと理解して対処していく必要があるため、正規職員だけでなく、全職員にしっかり連絡し、困ることがないようにする。</p> <p>避難訓練は、実際には午前中や早朝時にもありうることで、今年も少しは時間帯を変えたが、もっと様々な時間帯にやってみる必要がある。また、様々な状況を想定し、想定外のことが起こっても、一人ひとり判断できるような訓練も取り入れる。</p>	A
<p>IV 「保育教諭としての資質や能力、良識、適正」について</p> <p>自ら進んで研修ができていないと思うので、今後は専門的な知識や技術など、本やネット、先輩からの情報を得て知識を深め、より良いものを見つけていきたい。</p> <p>周囲の情報にもアンテナを高くして、研修を受けてきた時は、なるべく多くの人に報告し皆で共有していく。</p> <p>職員間で話し合う時間が足りないと思う。若い先生にも意見を言ったり相談しやすい雰囲気が必要なので、情報交換、コミュニケーションをとって、何でも良い易い場を作っていきたい。それが、お互いに良い刺激になり、良い保育ができることになる。</p>	B
<p>V 「保護者への対応」について</p> <p>どの保護者に対しても偏見や、固定概念を持たず対応し、問い合わせに対しては正しく確実に答えていくよう努力し、言葉使いに気をつけ、笑顔でいることに心がけていく。</p> <p>日中の様子は、積極的に伝えたり聞くなど関わりを大切にして、園と家庭で情報共有できるようにした。</p> <p>言葉1つで伝え方が違ってしまうこともあるので、気を使いながら話すようにしている。</p> <p>様々な意見を持った保護者対応は、園全体で考えていき、質問に対しては自分だけの考えで安易に答えず、他の先生にも必ず報告してから答えるようにしていく。</p> <p>外国籍の子が多くなり、なかなか伝わらないことが多く、対応が難しいのが今後の課題。</p>	A

## VI「子育て支援事業・地域との交流」について

<p>全体として2号に移行する子が増え、純粹の1号の預かりの子は以前より減っている。預かり保育時間と考えるのではなく、教育時間後の保育時間を、教育時間とは少し違う時間としてどのように保育していくか、内容等考え行っている。勿論少人数でも1号認定児の預かりの子もいるので、その連携も大切と考えている。</p> <p>未就園児のお母さんたちの支援の場がなくならないよう、支援室開放やイベントは行ってきたが、参加者は年々少なくなり、家で子育てをしている人の減少も感じる。職員もなるべく対応するよう気をつけ、親子の支援になるように努めた。</p> <p>また、地域の交流としてはおせっかいの会や、花畑の会など上、本所の方たちも園のことを気にしてくださっているので大変ありがたい。</p>	A
--	---

## (2) 学校関係者評価

### 学校関係者評価書

I「教育及び保育の目標、計画性」について	評価点
<p>情報共有、話し合いを大切にしていると感じるので今後も、風とおしの良い職場環境が大切だと思う。</p> <p>先生たちの個性も大切にしている、先生方の普段から子どものことを考えているということがわかる。</p>	A
II「幼児への対応」について	
<p>先生たちも一緒に楽しむ気持ちには子どもにもしっかり伝わるので、日々先生方の笑顔は、子どもにとって心の安心につながると思う。</p> <p>経験豊富な先生が、補助して下さるので安心だと思う。今後も、困りごとなどの情報共有が必要だと思うので、若手とベテランの風通しを大切にしてほしい。</p>	A
III「健康及び安全」について	
<p>毎月1回の訓練は大変だと思いますが、今後も続けてほしい。いつどんな時に起こるかわからないので、様々な状況を想定して訓練してほしい。子どもの訓練ということも大事ですが、主に職員の動きに重きを置いて訓練することが大事だと思う。</p> <p>アレルギー対応についても、大変だと思うが丁寧に対応してもらっている。</p>	B
IV「保育教諭としての資質や能力、良識、適正」について	
<p>先生たちも忙しくてなかなか時間がないと思いますが、研修は大事なことだと思う。研修内容を実施するためには、相互に伝え合うことが大切ですので、続けてほしい。</p> <p>夕方の2号認定児の合同保育の担当の先生への引継ぎも、しっかり行われて安心した。</p>	A
V「保護者への対応」について	
<p>園の保護者に対する対応はとても丁寧でありたい。若い先生たちも、堂々として保護者対応もしっかりできていて不安はなく、安心できる。迎えに行った時、何気ないことでも褒めてくれる声掛けをしてくれるととても嬉しい。</p> <p>外国籍の人への対応が大変だと思うが、保護者の中にも対応できる人がいないか声を掛け、窓口になってくれるような人がいるといいですね。</p>	A
VI「子育て支援事業・地域との交流」について	
<p>異年齢交流できる夕方の時間は、大切な時間だと思う。</p> <p>支援室開放も、子育てで悩んだり、孤独を感じているお母さんたちの助けになると思う。</p> <p>地域の方との交流があることはとてもありがたい。</p>	A
＜今後に向けて＞	
<p>全体的に、先生たちの頑張りや、園運営を好意的に見てくださり、とてもありがたかった。特に、職員もとても気にしている保護者対応は、若い先生たちも専門職らしく的確に答えてくれたり、担任ではない先生も、気軽に声を掛けてくれる嬉しいという言葉もいただき、真面目に頑張っていることを認められ嬉しかった。</p> <p>コロナも5類になったが、いろいろな感染症が流行し、やはり手洗いや消毒等、感染症予防には注意が必要だと改めて感じた。</p> <p>今後も、職員全員で子ども一人ひとりに目を向け、職員、保護者と連携をしっかりととりながら、良い教育、保育ができるよう進んでいきたい。</p>	